

学認クラウドゲートウェイサービスについて

国立情報学研究所
クラウド基盤研究開発センター／クラウド支援室

学認クラウドゲートウェイサービス ～大学・研究機関の認証基盤とクラウドの橋渡し～

- 一言でいえば、アクセス者が利用できるサービスを一覧にしたポータル
- 所属機関で利用可能なサービスが一覧できる
 - 機関毎のカスタマイズ（契約・連携しているサービスの指定/入力）
 - 個人毎のカスタマイズ（並び順の変更や個人利用サービスの追加）



利用者のアクセス例における本サービスのメリット



注：オレンジの矢印が利用者のアクセスを表す。ゲートウェイサービスにはe-Learning A・e-Journal Cのみ掲載されており、e-Learning Bへの導線がない。

- ゲートウェイサービスに表示されているサービスは機関契約など行っており利用可能である = 安心してアクセスできる
- 検索などしてたどり着いたあるサービス(e-Learning B)にアクセスして、利用できなくて困る、ということがなくなる

大学・研究機関側ができること

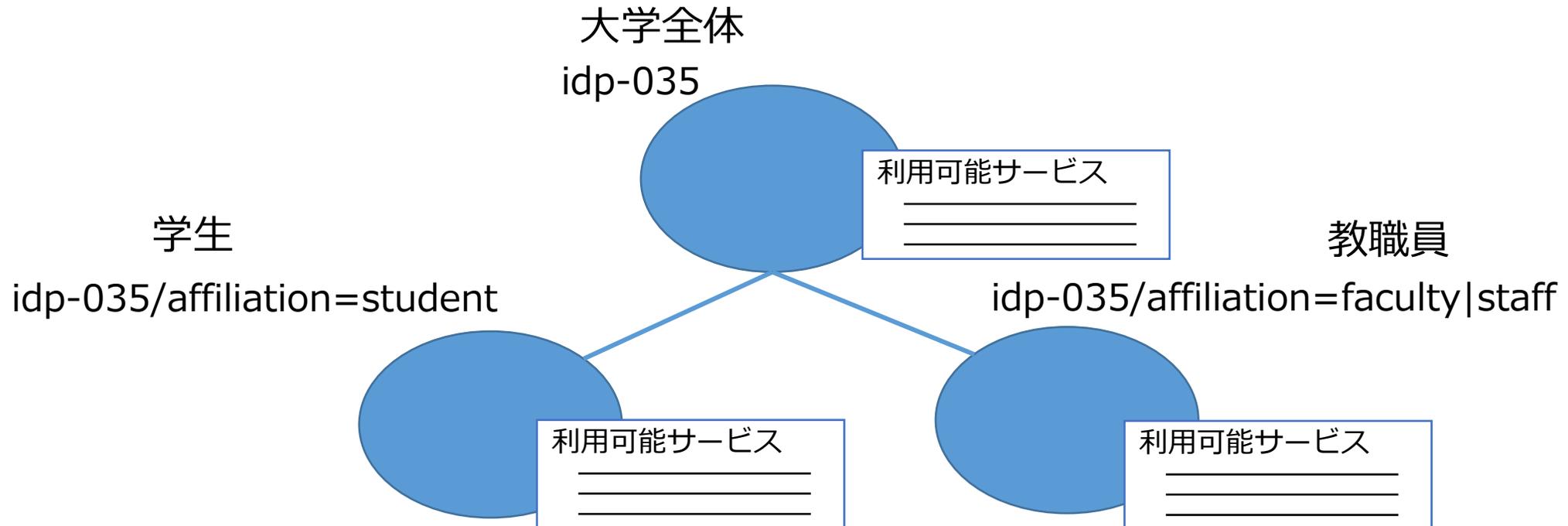
- 機関が契約・連携しているサービスを登録できる
 - IdP管理者が登録したサービスは全構成員に提示される
 - 機関で契約しているクラウドサービス
 - 学内サービス など
- 学認参加サービス(SP)であれば一覧から選択するだけ
 - IdPが属性送信設定しているSPに合わせて選択する
 - 学認申請システムでの設定 or ゲートウェイサービスに直接入力
 - ここで「利用可能」と指定されたものが、構成員に提示される

前提

- 学認に参加済みの機関からご利用いただけます
 - ゲートウェイサービスがSPとして所属機関を確認するため

機関内分類機能 NEW 利用機関募集中

- 学生は利用するが、教員は利用しないサービス（例:履修登録）、およびその逆のサービスへの対処を望む声が多い
- 「〇〇向けポータル」のイメージ
- 利用者の分類は、IdPからの属性を元に自動分類
- 特定部局特有のサービスなど、部局毎メニューもカバーする
- UIとマニュアルが未整備ですのでご希望の方はご連絡ください





- グループを作成しメンバーを登録しておくこと、そのグループ固有のサービスをメンバーのゲートウェイサービス画面に組み込み可能
 - グループの例：共同研究グループ、研究室、etc.
 - 学認のGakuNin mAPサービスで培ってきたグループ機能を継承
 - 連携実績あり：meatwiki、しぼすけ等
- グループ機能対応サービス・プライベートサービスの追加が可能

登録できるサービスの分類



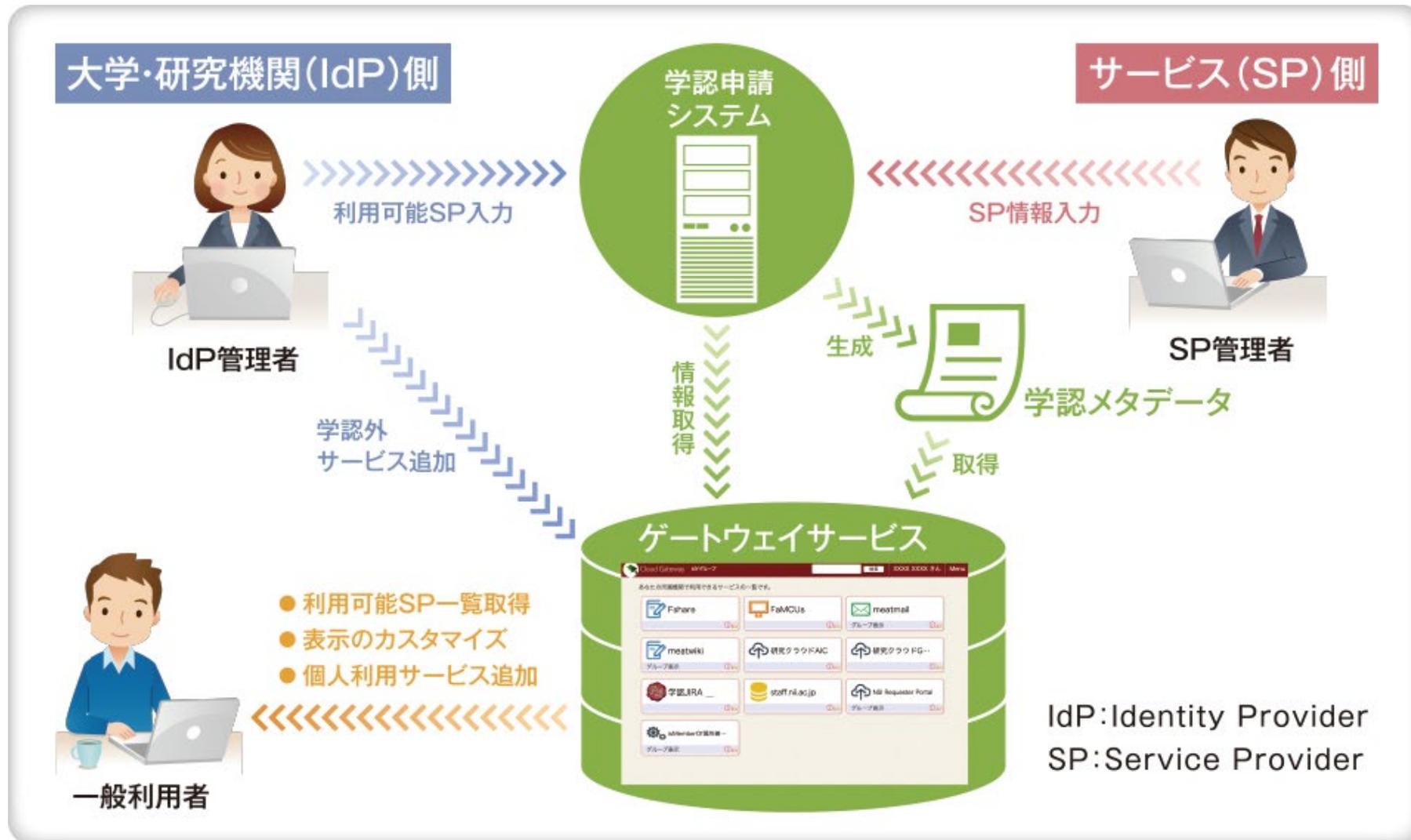
The screenshot shows the Gateway Service interface with a dark red header. The header contains the logo, 'Gateway Service MYグループ', a search bar, and the user name '西村健さん' with a 'Menu' button. Below the header, a message reads: 'あなたの所属機関(国立情報学研究所)で利用できるサービスの一覧です。' (A list of services available at your affiliated institution (National Institute of Informatics)).

The services are categorized into four groups, indicated by blue boxes at the bottom:

- 機関契約** (Institutional Contract): Includes Elsevier: ScienceDir..., John Wiley & Sons ..., and Web of Science.
- 個人利用** (Personal Use): Includes Gmail.
- 機関内分類機能** (Institutional Classification Function): Includes meatwiki.
- グループ利用** (Group Use): Includes 次世代mAP, 学認クラウド参加大学・研究機関, NII クラウド支援室, and uApprove Jet Pack開発.

- 機関契約
 - 所属機関が契約しているサービスなど
- 個人利用
 - 機関やグループで利用しているサービスだけでなく、個人的に利用しているサービスも登録できます
- 機関内分類機能／グループ利用…前スライドで説明済

ゲートウェイサービスの登場人物と役割



※学認 - 大学・研究機関の認証基盤と商用・非商用のオンラインサービスのためのSSOのための枠組み

ゲートウェイサービスを使うメリット

- 利用者の立場から
 - 自分が使えるサービスが一覧できる
(使えないサービスで迷わない)
 - サービス一覧をカスタマイズできる

- 学術機関(IdP)の立場から
 - 教員/職員を利用させたいサービスに誘導できる
 - 機関独自にポータルを用意する手間がない

- サービス提供者の立場から
 - サービス掲載によって利用者の目に留まる

- 学認クラウドゲートウェイサービスは利用申請をいただいた機関に対してのみ提供しています
 - 機関の担当者（=IdP管理者）が初期設定することが前提のため
- ※ただし、未申請機関・学認外利用者でもグループ管理機能のメンバー登録は可能

- 利用申請受付中！学認に参加している機関の方は是非！
 - <https://cloud.gakunin.jp/cgw/>
 - 無料でご利用いただけます
- お問い合わせ・ご相談：cld-office-support@nii.ac.jp



<https://cloud.gakunin.jp/>

学認クラウド

検索